



フォルトゥナ通信

➡ FORTUNA AKTUELL - Japanese Version

ブンデスリーガ2部残留が決定!

➡ FORTUNA AUCH IN DER NÄCHSTEN SAISON ZWEITKLASSIG!

選手インタビュー エマニュエル・イヨハ

➡ INTERVIEW MIT EMMANUEL IYOKHA

日本社会と親睦会を開催。

➡ FORTUNA MEETS JAPAN POWERED BY HITACHI

金城ジャスティン俊樹のサイン会を開催。

➡ AUTOGRAMMSTUNDE IN DER JAPANISCHEN SCHULE





横浜ゴム株式会社 月に一度は空気圧の点検を

YOKOHAMA – a strong brand with powerful tyres

Your YOKOHAMA tyre partner in Düsseldorf:

Winkler, Fries GmbH

Contact partner: Dimitri Nachtigall

Flingerbroich 10 • 40235 Düsseldorf

Telephone: 0211-61016458

107ZL



www.yokohama.de



YOKOHAMA –
Official Football Sponsor



親愛なる日本人社会の皆さまへ

Liebe japanische Gemeinde,

フォルトウナ・デュッセルドルフ会長 ロベルト・シェーファー

Robert Schäfer, Fortuna Düsseldorf Vorstandsvorsitzender

我々は今季、非常に難しい1年を過ごすこととなりましたが、最終的には無事に2部リーグ残留を果たすことが出来ました。選手、スタッフ、クラブ関係者、そしてファンの皆様にとってもほっと出来る結果になったのではと思っています。そんな中でもホーム最終戦となったFSVフランクフルト戦は、残留争いのライバルとの直接対決ということもあり、非常に緊張感のある試合となりましたが、多くの日本社会の方々もご来場し、スタジアムで直接ご声援を送ってくださいました。そして皆様の力強いご支援もあり、この一戦に勝利したチームは、残留に向けて大きく前進することが出来ました。

フォルトウナはここ数週間で、日本社会とのより良い友好関係を構築するために様々なアクション

を起こしてきました。日本社会の皆様との親睦会や日本人学校でのサイン会を開催しただけでなく、在デュッセルドルフ日本国総領事館の水内総領事にもホーム試合にお越しいただきました。またフォルトウナはデュッセルドルフ日本商工会議所の会員として日本社会の仲間入りも果たしております。来季は金城ジャスティン俊樹もより多くのチャンスを得ていくことになると思いますし、監督も彼のような若く可能性を秘めた選手を育てていきたいと話しています。これから来季に向けてのチーム作りを進めていくこととなりますが、皆さんに期待していただけるチームを目指していきます。

我々はこれからも多くの日系企業のサポートと共にしっかりと結



果を出しながら、日本社会の皆様との関係をより良いものにし、そして皆様により身近な存在と思ってもらえるよう頑張っていきたいと思います。皆様が来季以降もこれまで同様、またはこれまで以上にフォルトウナにご声援を送ってくださることを願っていますので、是非よろしくお願いいたします。



Impressum



Herausgeber 発行元:
Fortuna Düsseldorf 1895 e.V.
Flinger Broich 87
40235 Düsseldorf

Leitung 情報管理:
Kai Niemann (medien@f95.de)

Chefredaktion 編集長:
Gengo Seta (japandesk@f95.de)

Fotos 写真:
Christof Wolff

Layout レイアウト:
Christian Lewandowski
(www.derlewan.de)

Druck 印刷:
Clasen GmbH

昇格候補相手には好ファイトにも、その後に4連敗。

Zwei tollen Auftritten gegen Aufstiegskandidaten folgen vier Niederlagen



前半戦の不振を払拭するために、今年1月に就任したマルコ・クルツ監督だったが、7試合で1勝5敗1分という結果を受けて、クラブは厳しい決断を下すことに。後任にはフリードヘルム・フンケル氏が就任し、残り8試合を指揮することとなった。

クルツ監督の下、後半戦初戦は1.FCハイデンハイムに敗れたフォルトゥナだったが、続くSCフライブルク戦は、積極的で攻撃的な姿勢を見せる。そして新加入ニコラ・ジュルジッチの先制点に続き、後半にはセルチャン・サラレアが追加点を奪い、アウェーで貴重な勝ち点3を奪うことに成功した。さらにホームに戻って1.FCニュルンベルクを迎え撃ったチームは好調を維持すると、前半にサラレアが倒されて得

たPKからケレム・デミルバイが先制ゴールを奪うことに成功。しかし、ここから多くの決定機を決めきれないと、試合終了8分前に失点し、試合は引き分けで終わってしまった。

強豪クラブとの連戦で1勝1分けとしたフォルトゥナだったが、ここから泥沼の4連敗を喫することになる。下位に沈む1860ミュンヘンにアウェーで3-2と競り負けると、ホームでVfLボーフム(1-3)とカールスルーエSC(0-1)に続けざまに敗れ

てしまう。得点チャンスは作るも決められないという負の連鎖が止められず、さらにアウェーでSVザントハウゼンにも敗れると、順位も入れ替え戦となる16位まで下がってしまう。この結果を受けて、クラブは苦渋の選択をすることになった。そして今年1月に就任したばかりのクルツ監督を解任し、シーズン最後まで8試合を、経験豊富な62歳のフリードヘルム・フンケル氏に託すことを決断した。



フンケル新監督がベテラン選手の起用で初勝利。

Funkel setzt auf Erfahrung und gewinnt bei seinem Debüt

フンケル新監督が就任して迎えた最初の試合は、ホームでの1.FCカイザーслаウテルン戦。新指揮官は残留争い8試合に挑む上で、これまで出場機会の少なかったベテラン2選手アダム・ボツェックとオリバー・フリンクをチームの中心に戻す判断を下す。

試合は開始早々にハラランポス・マヴリアスのヘディングゴールで先制するも、その4分後にすぐに追いつかれる展開。その後、前半のうちにフリンクとジュルジッチの得点で再びリードを奪ったフォルトウナだったが、後半の立ち上がり2

失点し、2度のリードを追いつかれてしまう。しかしこの試合に決着をつけたのは、後半途中に投入された怪我明けのデミルバイ。頼れる“ナンバーテン”は、ピッチに立った1分後に勝ち越しゴールを叩き込み、これが決勝点となってフォルト

ウナが4-3のシーソーゲームを制すること成功した。これに続き、連勝を狙ったアルミニア・ビーレフェルトとのアウェー戦だったが、この試合はどちらも決定力を欠き、90分戦ってスコアレスのドローでタイムアップも、確実に勝ち点1を獲得した。



フォルトゥナのブンデスリーガ2部残留が決定！

Fortuna auch in der nächsten Saison zweitklassig!

ホーム試合では毎回のように先制するも、追加点が奪えずに失点をしてしまうフォルトゥナ。またアウェーでは勝負弱さを露呈し、勝ち点3を奪うことが出来ない。そんな中、不安定なディフェンス陣に対し、フンケル監督はケヴィン・アクポグマに白羽の矢を立てる決断を下した。するとこれがディフェンスに安定をもたらし、最後は2連勝で自力残留を確定させることに成功した。

2試合で1勝1分としたフンケル監督は、今季残り6試合というところで、ホームで強敵ライプチヒを迎え撃つことに。するとフォルトゥナは、開始早々から猛攻を仕掛けると、15分のフィークの先制点を含め、前半に素晴らしいパフォーマンスを披露する。しかし数ある追加点のチャンスを決めきれないと、前半終了間際に一瞬の隙を突かれて同点に追いつかれる展開に。そして後半立ち上がりにも失点する

と、後手に回るプレーが増え、結局この試合を1-3で落としてしまう。さらに続くアウェーでのグロイター・フュルト戦は、サラレアが得点を上げるも、ディフェンス陣が再び不安定さを露呈し、1-3の黒星を喫してしまう。

ここで2試合6失点のディフェンス陣にテコ入れを決断した指揮官は、キャプテンのカリム・ハグイを外し、アクポグマとアレクサンダー・マドルングをセンターバックに並べて、FCザンクト・パウリ

戦を迎える。するとホーム試合では3試合連続となる早い時間での先制に成功すると、30000人を超える観客にも後押しされ、次々に好機を演出する。ところがどうしても追加点が奪えないと、たった1回のカウンター攻撃で失点を許し、再び勝ち点1の獲得に留まることとなってしまった。それでも新しいセンターバックのデュオは、チームに安定感をもたらすこととなった。



F95 - Leipzig 1:3



SpVgg Greuther Fürth - F95 3:1



F95 - FC St. Pauli 1910 1:1





残り3節となって、残留争いも5クラブに限定された状況で迎えたMSVデュイスブルクとの一戦は、勝てばライバルらに大きく差をつけることが出来るチャンスだった。しかし5000人以上のフォルトウナサポーターが現地で声援を送ったアウェーでの戦いで、1-2の敗戦を喫してしまう。それでも背水の陣で挑んだホーム最終戦のFSVフランクフルト戦で

は、32000人を超える観客が見守る中で、フィンクとデミルバイのコンビで決勝点を奪うことに成功し(1-0)、残留に向けて大きな勝ち点3を獲得した。

最終節はアウェーでアイントラハト・ブラウンシュヴァイクと対戦することになったフンケル監督は、今季初となる金城ジャスティン俊樹をベンチ入りメンバーに加えてキックオフを迎える。試合は

緊張感のある展開となったが、運にも恵まれて失点を免れると、後半にデミルバイがPKを含む2得点の大活躍で試合を決定付ける。そして最後まで集中を切らさず戦い抜き、タイムアップを迎えることとなった。これによりフォルトウナは、総獲得勝ち点35点となり、最終順位を14位として、来季のブンデスリーガ2部残留を確定させることに成功した。





エマニュエル・イヨハ
39 / EMMANUEL IYOHA



エマニエル・イヨハ Emmanuel lyoha

デュッセルドルフ出身のエマニエル・イヨハ(以下、エマ)は、2005年からバイヤー04レヴァークーゼンでプレーしていたが、2011年にフォルトウナに加入すると、その後素晴らしい成長を見せ、18歳でプロ契約を結ぶとともに、トップチームデビュー、U19ドイツ代表選出と目まぐるしい日々を過ごしてきた。そんなエマに今の思いを聞いてきた。

*インタビュアー:レオニー・ボスマン(12歳、キッズクラブ会員)

6年間所属したレヴァークーゼンからフォルトウナへ移ってきたきっかけは何ですか？

僕はデュッセルドルフで生まれ育ったし、この街で5歳のときにサッカーを始めたんだ。レヴァークーゼンではあまり上手いかないこともあったけど、フォルトウナでプレーするチャンスをもたらえたので、この街に戻ってくることにしたんだよ。

フォルトウナというクラブはエマにとってどんな存在ですか？

このクラブは僕にとって第2の家族だね。一緒にプレーする仲間やスタッフたちも含めて、まさに“ファミリー”と言うべき存在だよ。

昨年10月にフォルトウナでプロ契約を結んだときの気持ちを教えてください。

プロサッカー選手になることは子供の頃からの夢だったし、18歳でプロ契約が出来たことはとても嬉しかった。それと同時にとても自信にもなったね。フォルトウナにはしっかりとプレーで恩返ししていきたいと思っているよ。



ライブチッヒ戦でブンデスリーガ2部デビューを果たしたわけですが、そのときはどんな気持ちでしたか？

デビューのチャンスが来たときはとても緊張したよ。今でもはっきりと覚えているくらい最高の感覚だったし、忘れられない瞬間だったね。

エマの今の目標は何ですか？

まずはもっと継続的に試合に出られるようになることが第一だね。そして出来るだけ早くフォルトウナのためにゴールを決めたいと思っているよ。

昨年ドイツU19代表にも選ばれるようになってますね。

もちろんすごく誇りに思うことだね。自分が生まれ育った国の代表チームのユニフォームを着ることは昔からの夢だったし、U19欧州選手権に向けたメンバーにも選ばれることを願っているよ。もちろんそうになったらしっかり結果を出したいね。

エマが手本にしている選手はいますか？

僕の手本にしている選手は、FCリヴァプールのダニエル・スターリッジ選手かな。僕と同じポジションの選手だし、プレースタイルも似ているんだ。だから彼のプレーやトリックは良く見ているよ。

日本語を知っていたりしますか？また、日本食は好きですか？

さすがに日本語は出来ないな。でも日本食は好きだよ。僕の通っていた学校のすぐ近くに日本人学校があるし、昔から日本という国はすごく身近な存在だね。

日本の選手とプレーしたりした経験はありますか？

ジャスティンはもちろんチームメートだからいつも一緒にトレーニングしているよ。それ以外でも日本のチームと対戦した経験はたくさんあるけど、日本の選手たちはとても技術が高く、運動量も豊富で、そういった選手たちを相手に戦うのはすごく難しかった印象があるね。

最後に日本人ファンの皆さんへメッセージをお願いします。

一人でも多くの日本の方にフォルトウナを応援してほしいと思います。チームが苦しんでいるときも、是非声援を送ってほしいし、そういった姿が見られることを願っています。

Emmanuel lyoha



- ➡ 背番号: 39
- ➡ 生年月日: 1997年10月11日
- ➡ 身長: 191cm
- ➡ 体重: 75kg
- ➡ 国籍: ドイツ/ナイジェリア
- ➡ 加入年: 2011年
- ➡ 出身地: デュッセルドルフ
- ➡ 現住所: デュッセルドルフ



日本社会と親睦会を開催。

Fortuna meets Japan powered by HITACHI

HITACHI
Inspire the Next

4月25日(月)、“Fortuna meets Japan powered HITACHI”と題した日本社会との親睦会が開催された。この会は2012年よりpremiumPARTNERとしてクラブを支えるHITACHI社のサポートを受ける形で、デュッセルドルフの日本社会の中心でもある日航ホテルにて開催され、多くの日系企業の方々を招待して親睦を深めた。当日は日航ホテルのケン・ディットリッチジェネラルディレクターの挨拶に始まり、ロベルト・シェーファー会長がフォルトウナの代表として日本社会への思いを述べた後、HITACHI社を代表して日立ハイテクノロジーヨーロッパ社の小掠義之社長もスピーチを行った。続いて今年の冬に新加入した日本人選手の金城ジャスティン俊樹が、出席した方々の前で自己紹介と共に挨拶をし、その後は会長、選手ともに出席者らと歓談を楽しみ、日本社会の方々との関係性を深める意味でも非常に有意義な時間となった。

「日航ホテルとフォルトウナは非常に近い存在です」と話し始めた日航ホテルのディットリッチ氏は、「どちらもこのデュッセルドルフではすでに長い歴史を持っています。フォルトウナはすでに100年以上の伝統があるクラブであり、また日航ホテルも出来てから40年以上になります」と述べ、双方がこの街で重要な存在であることを強調した。また今年3月に新しくフォルトウナの代表に就任したシェーファー会長は、まず日本社会の方々に対して自己紹介を行った。この日はクラブと日本社会との更なる友好的な関係性の構築することが大きなテーマであり、premiumPARTNERとして4シーズンに渡りフォルトウナをサポートしているHITACHI社に言及し、「私は

ザンクト・パウリ戦の際に日立ハイテクノロジーヨーロッパ社の小掠義之社長にご挨拶をさせていただいたが、その際に双方で今後のパートナーシップに関しても、あるアイデアについて話し合うことが出来ました。それを可能な限り今後一緒に進めていければと思っています」と将来的な更なる関係性の構築を口にした。

またこれに続いてスピーチを行った小掠社長(日立ハイテク社)は、フォルトウナへの支援をすることについて言及し、「デュッセルドルフという場所はHITACHI社にとって非常に大きな意味を持っていますが、その街においてフォルトウナは大きなステータスを持った存在です。今季のチームは非常に難しいシーズンを

過ごしましたが、それにも関わらず25000人を超える平均観客動員数を数えており、これは特筆すべきことだと思っています」と述べた。更にHITACHI社を代表して、この冬に新加入した日本人の金城ジャスティン俊樹にも歓迎の言葉を送った。




hotel nikko düsseldorf

「ジャスティンは我々が進んでいこうとする方向性の中で非常に重要な存在」

„Justin steht sinnbildlich für den Weg, den wir in Zukunft gehen möchten“

現在は毎日トップチームでトレーニングをし、週末はU23チームで出場経験を積んでいる金城も、「まずこの親睦会にご招待いただき、とても感謝しています。この場所にいられることを非常に嬉しく思います」と丁寧に感謝の言葉を述べるとともに、実兄とのやり取りについて言及し、「私の兄は4年前にフォルトゥナのU19チームでプレーしていましたが、その時の経験から、この街がとても素敵なおとこで、そしてたくさんの日本の方が住んでいるということを感じ

てくれました。私はこの伝統あるクラブの一員でいられることを、そしてこの街で暮らしていることを嬉しく思っていますし、とても気に入っています」と、流暢な英語でスピーチした。

シェーファー会長はクラブとしての将来的な方向性についても、「今年の冬に1860ミュンヘンから獲得した金城ジャスティン俊樹は、今後我々が進んでいこうとしている方向性の中で、非常に重要な存在です。我々は今後、すでに有名になったような選手だけ



ではなく、若く可能性を秘めた貪欲な選手たちと共に、クラブとして成長していきたいと思っています」と話し、締めくくった。

offset cmyk
dtp proof schmuckfarben
photoshop fünf+lack FSC illustrator
prepress scannen bogen
nuten einfarbig indesign
klimaneutral vierfarbig kleben quark
retusche
klammern ctp andruck
zickzackfalz digitaldruck

CLASEN GmbH
ihr printmedienpartner in düsseldorf



Geschäftsführung: Michael Klein & Achim Krause

金城ジャスティン俊樹のサイン会を開催。

Autogrammstunde in der japanischen Schule

今季最終戦の2日前となった5月13日(金)、デュッセルドルフのオーバーカッセルにある日本人学校にて、premiumPARTNERであるHITACHI社の協力の下、金城ジャスティン俊樹のトークショー＆サイン会が開催された。多くの子供たちがフォルトウナのユニフォームを着て参加し、たくさんの質問をするなど大盛り上がりとなった。



デュッセルドルフに暮らす日本人の子供たちにとって、フォルトウナは“我が街のクラブ”である。そんな地元クラブでプロ契約をした日本人である金城ジャスティン俊樹が、デュッセルドルフ日本人学校を訪問し、HITACHI社の協力の下、トークショー＆サイン会を実施した。会場となった学校の体育館には300人を超える生徒らに加え、約100人の保護者の方々も詰めかけ、金城は大きな拍手で迎え入れられることに。トークショーは日本デスク担当の瀬

田が司会を務める形でスタートし、子供たちの多くの質問を受け付けると、生い立ちのことから練習の様子、普段の生活についてなど、たくさんの質問が飛んできたが、金城も1つ1つ丁寧に回答していった。

続いて全員と一緒に写真撮影に挑んだ金城は、笑顔いっぱい隣を奪い合う子供たちを見て、「こんなに多くの子たちがフォルトウナのユニフォームを着てくれていて驚いたし、喜んでくれてすごく嬉しいことですね」と、“ジャステ

インフィーバー”状態の子供たちに終始驚いた様子。子供たちはその後、思い思いのユニフォームやサイン帳にサインをもらうなど、約2時間に渡って金城との交流を楽しんだ。

最後に、「来シーズンはたくさん試合に出れるように頑張るので、是非応援に来て下さい」と活躍を約束した金城。来季はESPRITアリーナで、“KINJO”のネームプリントが入ったユニフォームを着た子供たちの姿を、多く見かけることが出来るに違いない。





NIKKO MEET ALL DAY パッケージ

会議場、標準の技術設備、お水とリンゴジュース
飲み放題、軽食付きコーヒーブレイク2回
3コースランチ、ロビー常設コーヒー ステーション
無線LANのご利用(参加者全員)
お一人様

59ユーロ~

上記が全て含まれたお得なパッケージです!

デュッセルドルフへようこそ。



12の宴会場

総面積1500m²

最大収容人数400名

2013年の総改装

市の中心にある理想的な立地

550台の地下駐車場

お問い合わせ担当 林洋平

FON 0211 834 2701 | E-MAIL yohei.hayashi@nikko-hotel.de



 **hotel nikko düsseldorf**

Immermannstr. 41 | 40210 Düsseldorf | www.nikko-hotel.de

八千代高校をサッカーでおもてなし。

Yachiyo Highschool U18 Team bei der Fortuna zu Gast

フォルトゥナが日本で展開している“出張ドイツ語サッカースクール”が、この春にはドイツでも開催された。日本デスク担当の瀬田が、春休みを利用してドイツ遠征に来ていた八千代高校サッカー部18人を対象に2回のドイツ語レッスンをを行った後、フォルトゥナのコーチらがトレーニングセッションを担当。その場にはU17チームの選手16人も参加し、日本の高校生たちも覚えてたのドイツ語でコミュニケーションを取るなど、貴重な国際交流の機会になった。

3月後半から4月初めは日本の学校は春休みとなる。この期間を利用して毎年多くの日本の育成チームがヨーロッパ遠征にやってくるが、中でもドイツは2014年のW杯優勝もあり、また多くの日本選手が活躍していることもあって、人気国の1つになっている。そんな中、千葉県八千代高校サッカー部は今年で3回目となるドイツ遠征にやってきたが、合計で9日間に及ぶ遠征中には、現地の複数クラブとのテストマッチやデュッセルドルフの市庁

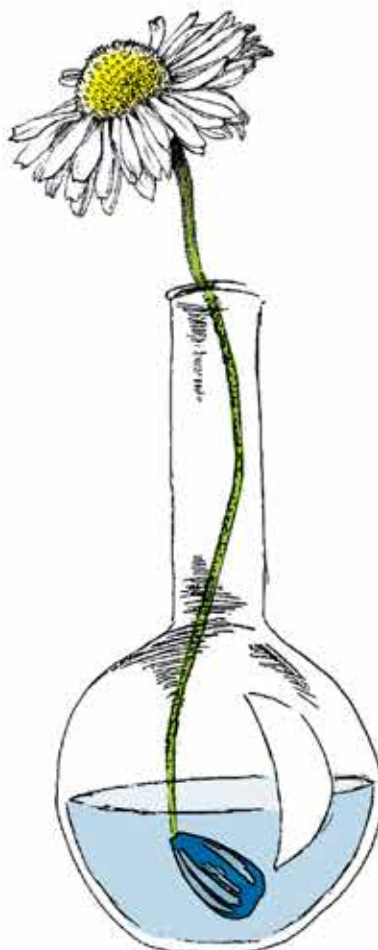
舎訪問など、サッカーを通じて様々な国際交流の経験を積むこととなった。

そんな今回の彼らのドイツ遠征には特別なプログラムが組まれていた。それはフォルトゥナ日本デスクの瀬田が日本で行っている“出張ドイツ語サッカースクール”だ。この出張スクールは本来は日本で行われているものだが、今回は特別に八千代高校の選手たちのためにドイツで実施された。さらにフォルトゥナU18のポレンスキー監督および、フォルト

ゥナU17のアルパスラン・グーベンコーチが特別指導を引き受けてくれただけでなく、U17の選手たちとの合同トレーニングも行われることになった。

日本の高校生たちにとって、ドイツ語を使って実際に同年代のドイツ人選手たちと一緒にサッカーをしたことは、特別な経験となっただろう。こうやって日本からのゲストをサッカーを通じておもてなしすることで、彼らの中に「フォルトゥナ」という名前がしっかりと刻まれていくことを期待したい。





Growing Future. TOYOBO.

TOYOBO and **Spinreact** are looking forward to the future as much as you are. From **medical equipment** to reagents for **in-vitro diagnostics**, our healthcare division combines **Ideas & Chemistry** to improve on general **health** and quality of **life**. Enjoying the future with you.

Discover our expertise right here in Europe:

Films & Polymers

- ✓ Packaging Films
- ✓ Industrial Films
- ✓ Functional Resins
- ✓ Engineering Plastics

Industrial Materials

- ✓ Cushioning Material
- ✓ High-performance Fibers
- ✓ Airbag Fabrics
- ✓ Functional Filters

Life Science

- ✓ Modifying Enzymes
- ✓ Diagnostig Reagents
- ✓ Hollow Fiber Membranes
- ✓ Seawater Desalination

Functional Fibers

- ✓ Comfort Evaluation Tech.
- ✓ Heat-generating Textiles
- ✓ Cool Feeling Fabrics
- ✓ Water-absorbing Fibers

未来を生きる子どもに、 どんな世界を贈れるだろう。

私たちの子どもが、そして、その子どもたちがいつまでも、
昨日よりもっといい世界で目覚めることができれば。そんな未来を想像してみませんか。
世界中のいたるところで、豊かな水とクリーンエネルギーがあふれ、
道路は渋滞することなく、誰もが一人ひとりに合った医療を受けられる。
日立は、それをけっして夢ではなく、社会イノベーションでかなえる未来と考えています。
すでに動き出しているのは、電力や水や交通などの異なるインフラをITでつなぐことで、
資源のムダをなくし、社会状況の変化にも柔軟に対応して進化し続けるシステムづくり。
これも、世界をより豊かにするための取り組みの一つです。
私たちが想像できる暮らしは、きっと、実現できるはず。
未来への、かけがえのない贈り物をしたいのです。

それが、日立の社会イノベーション。

social-innovation.hitachi.com

SOCIAL INNOVATION

**IT'S OUR
FUTURE**

